

白鷹町支え合いの 地域づくりフォーラム を開催しました

第2弾



10月6日、「白鷹町支え合いの地域づくりフォーラム」が開催され、約70名の方が参加されました。これは、住民主体の団体である「支えあう地域づくりないの会」が主催、白鷹町が共催し、年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、お互いに支え合う地域づくりを目指すものです。フォーラムでは、NPO法人ふれあい天童の加藤由紀子さんより県内の支え合い活動の状況を報告をいただいた後、公益財団法人さわやか福祉財団理事の鶴山芳子さんから講演とグループワークをしていただきました。参加者のアンケートの結果によると、高齢化が進む中、「地域での支え合いは必要である」と回答された方は全体の98%であり、「自分が取り組んでみたい助け合いがある」と回答されました。また、多くの方が「今後支え合いの地域づくり研修会に参加したい」と回答されました。



グループワークの様子

アンケートの結果を受け、「支えあう地域づくりないの会」が主体となり、今後、支え合いの地域づくり研修会を行うこととなりました。皆さんも一緒に、これからの白鷹町の支え合いの地域づくりについて考えてみませんか。研修会の内容、開催時期については今後広報等でお知らせします。

創立70周年記念式典・講演会

10月19日、白鷹町佐藤誠七町長、五十嵐政司記念事業実行委員長（荒砥高校同窓会長）はじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、創立70周年記念式典が挙行されました。

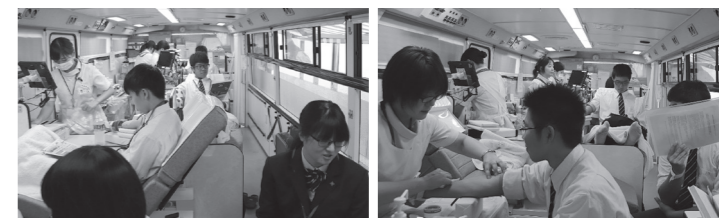
また、式典後に行われた記念講演会では、作詞家の風戸強さん（昭和45年卒業）が「ふりむけば…」と題して講演。後半には、作曲・編曲家の飛澤宏元さんに友情出演として登場していただきました。



1_五十嵐実行委員長 2_佐藤町長 3_風戸さん（左）、飛澤さん（右） 4_風戸さんへ花束の贈呈

荒砥高校も献血に協力

10月11日、献血車が本校に来ました。生徒、職員、そして近所の方々にも協力いただきました。



芳賀秀次郎賞入選作品

町出身の詩人で教育者の芳賀秀次郎さんの業績を顕彰するために創設された詩の文学賞「芳賀秀次郎賞」。

今年度は、町内の小中高6校の中から次の14点が入賞しました。

主催：芳賀秀次郎賞実行委員会（丸川正晃会長）

- 最優秀賞
 - 「田植えをして」 沼澤 柊人（東根小5年）
- 優秀賞
 - 「もしかして」 澁谷 理奈（鮎貝小1年）
 - 「自信がついた水泳」 佐藤 光雅（鮎貝小3年）
- 【中学生の部】
 - 「本当の思い」 鈴木 愛華（白鷹中3年）
- 【高校生の部】
 - 「今」を生きる」 樋口萌々架（荒砥高3年）
- 佳作
 - 【小学生の部】
 - 「あかちゃん」 こまつ ひなた（蚕桑小1年）
 - 「口のじしん」 佐藤 蒼衣（東根小2年）
 - 「ぜったいおよぐ」 田口 りん（蚕桑小2年）
 - 「おばあちゃんの木」 紺野 葵李（東根小4年）
 - 「ゴールまで」 高梨瑚太郎（荒砥小5年）
- 【中学生の部】
 - 「守られて」 渡会 唯（白鷹中1年）
- 【高校生の部】
 - 「ココロ」 梅津 芽依（荒砥高3年）
 - 「言葉」 青木 悠生（荒砥高3年）
 - 「大人になる」 須藤 未来（荒砥高3年）

※敬称略

第50回白鷹町読書感想文コンクール

- 童門冬二賞
 - 「じごくつて こわいんだ」 松田 蒼士（荒砥小1年）
- 生涯教育推進本部長賞
 - 「人は変わる」 澤田 明喜（白鷹中3年）
- 教育長賞
 - 「3・11あの日のできごと」 小林 優那（荒砥小6年）
 - 「壁を乗り越えるために」 小関 大和（白鷹中1年）
 - 「ありのままの自分」 松野ひかり（荒砥高3年）
- 図書館長賞
 - 「ぼくも ゆう気がほしい」 長谷川蓮季（荒砥小2年）
 - 「お母さんとわたし」 佐藤 愛琉（東根小3年）
 - 「本当のやさしさ」 中川 久綱（蚕桑小5年）
 - 「『ヒロシマのいのち』を読んで」 高木 優月（白鷹中2年）
 - 「『嘘』という本音」 片山 菜月（荒砥高2年）
- 入選者
 - 平井 颯馬（東根小1年）
 - 海老名大翔（荒砥小2年）
 - 紺野 竜暉（荒砥小3年）
 - 新野 嘉穂（東根小4年）
 - 樋口 湊実（鮎貝小4年）
 - 小林 悠愛（東根小5年）
 - 齋藤 峻（東根小6年）
- 一般の部
 - 「電車で始まる物語」 豊嶋 奏多
 - 「絵本の一行感想」 こせき みゆう
 - 「よつばこども園」 すずき そうま
 - 「よつばこども園」 えびな にこ
 - 「よつばこども園」 ぬまさわ きずな
 - 「よつばこども園」 むらかみ ひとき

※敬称略